

特別講演会紹介

「応用物理学との接点を求めて」

—— 学術分野の相互乗り入れで画期的成果を ——

現地実行委員会企画

開催趣旨

異分野との融合、新しい学際領域の創生などのきっかけづくりを目的。
応用物理学会とは普段かかわりが少ない分野の研究者との交流の場。
つくばの特徴を生かし、国内外を代表する研究機関から講演者を招待。

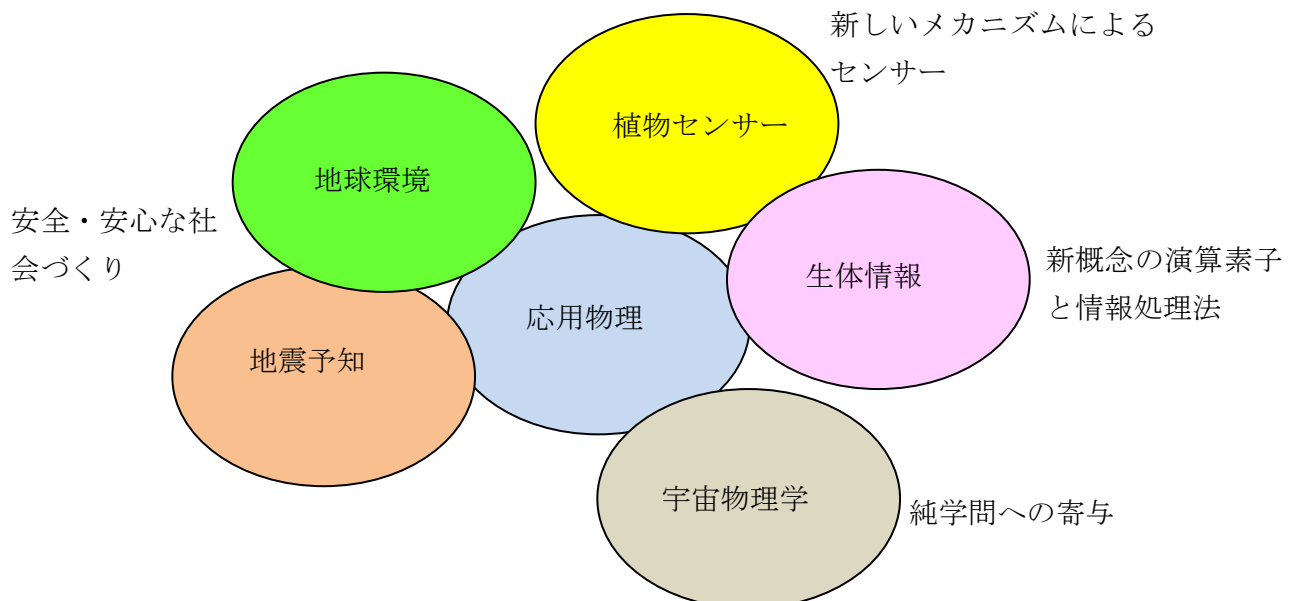
背景と期待

応用物理学会は、物理、電気、化学など広い範囲の学問理論を実社会へ応用することを念頭におき社会の発展に貢献する。

現在の主な研究領域

光エレクトロニクス、半導体、薄膜・表面、有機エレクトロニクス、等

現状でも発展は望めるが分野融合による新概念の創出が期待できる。
定期的に講演会等開くことが大切



一般公開 (無料)

第 56 回応用物理学関係連合講演会 特別講演会

「応用物理学との接点を求めて」

日時 2009年3月31日(火) 13:00 ~ 17:10

場所 筑波大学第三エリア A棟4階 3A403

プログラム

- 13:00 - 13:05 はじめに
- 13:05 - 13:50 「スペース VLBI で探るブラックホール宇宙：VSOP2 計画」
宇宙航空研究開発機構 教授 坪井昌人
- 13:50 - 14:35 「環境の中の植物」
農業生物資源技術研究所 植物科学研究領域長 飯 哲夫
- 14:35 - 14:50 休憩
- 14:50 - 15:35 「生体の情報処理 -感覚情報から運動情報への変換-」
産業技術総合研究所 主任研究員 竹村 文
- 15:35 - 16:20 「防災科研基盤的地震観測網による
新たな地震現象の発見と地震調査研究の進展」
防災科学技術研究所 地震観測データセンター長 小原一成
- 16:20 - 17:05 「地球温暖化の問題を正しく理解するための IPCC 評価報告書」
国立環境研究所地球環境研究センター 副センター長 野尻幸宏
- 17:05 - 17:10 将来への期待をこめて
筑波大学数理物質科学研究科 教授 秋本克洋

問い合わせ等：<http://www.bk.tsukuba.ac.jp/~ohbutsu/emi.ito@s.bk.tsukuba.ac.jp>



理化学・計測機材展 (理化学機器等の展示会 一般公開)

- 会 期 2009年3月30日(月)~4月2日(木)
- 開場時間 午前10:00~午後5:30 (最終日の4月2日は午後1時まで)
- 会 場 筑波大学 第1, 第3体育館

問い合わせ先：株式会社 日刊工業広告社 TEL.03-5614-3080